

EPUB3.0の動向・制作過程

今後、日本の電子書籍市場を牽引していく
EPUBの縦組書籍対応バージョン「EPUB3.0」。
その動向と制作過程についてご紹介いたします。

■EPUB3.0を巡る状況

2012年夏、楽天の提供する「koboイーブックストア」がスタートしました。こちらで取り扱われる電子書籍はEPUB3.0によるデータフォーマットとなっています。専用の電子書籍リーダー端末「kobo touch」も発売され、市場シェアの拡大が進んでいます。ライバルであるAmazonの和書ラインナップがなかなか充実していない現状から、楽天の今後の動向に期待が集まっています。

■EPUB3.0の特徴

日本では、ドットブックやXMDFといった日本独自のフォーマットが主流となっていました。米国で開発されたEPUB形式は縦組書籍に対応していなかったため、日本での電子書籍のフォーマットとして定着することはありませんでしたが、EPUB3.0へバージョンアップした際、縦組やルビなど日本語独自の組版仕様に対応しました。2012年に入ってからEPUB3.0形式が注目されているのは、世界基準フォーマットとなったことに起因しています。

現在EPUB形式で提供されている電子書籍は、文庫系が主になっていますが、リフロー型である必要がなければ、雑誌・ムックなどもフィックス型のEPUB形式として制作することが可能です。

■kobo touchの特徴

kobo touchでは、一つの書籍内でモリサワフォントを三種類まで使用して表示することができます。そのため、日本語表示が見やすく、和書の電子書籍端末としての期待度が高まっています。現在ストアのラインナップの充実が図られており、青空文庫などの無料書籍の取り扱いは一万冊以上となっています。

■EPUB3.0の制作過程

EPUB3.0は、制作の際にご支給いただくデータの種類によって、その後の工程が異なります。(下表)

ほとんどの場合、まずInDesign CS6で仮組みしてからEPUB3.0を書き出し、体裁を整えることとなります。詳しい制作過程については裏面をご覧ください。

どのようなデータ形式からでも、または原本からでもEPUB3.0は制作可能ですが、EPUB3.0化を念頭に置いて制作された組版データからの変換がもっとも効率的です。当社では、あらゆる商品についてEPUB3.0などの電子書籍への展開を考慮した組版データ制作を行っています。

支給データ別の制作工程一覧

- ① **InDesignデータ (CS5.5以降のバージョン)**
組版データからEPUB形式を直接書き出し、体裁調整
- ② **InDesignデータ (CS5.5より前のバージョン)**
InDesign CS6にコンバート後、①と同工程
- ③ **QXデータ**
InDesign CS6にコンバート後、①と同工程
- ④ **その他の電子書籍フォーマットデータ (MCBook、ドットブック、XMDF)**
専用エディターからEPUB3.0を直接書き出し、体裁調整
- ⑤ **テキストデータ (Wordデータなど)**
InDesign CS6で仮組み後、①と同工程
- ⑥ **PDFデータ**
PDFをWordデータに変換後、テキストを整え、InDesign CS6で仮組み
- ⑦ **原本**
OCRソフトでテキストデータ化し、InDesign CS6で仮組み



様々なデバイスで表示可能なEPUB。今後の普及が期待されています。

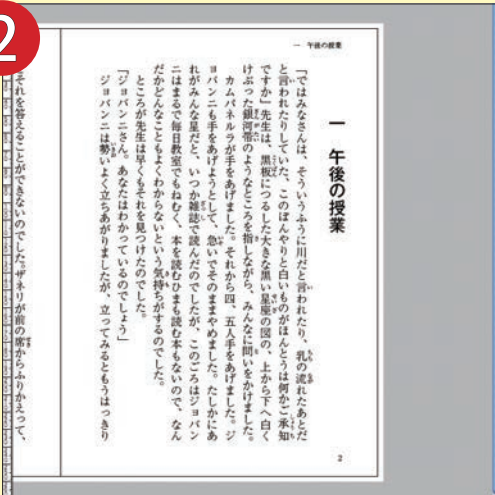
【EPUB3.0形式 (kobo touch版縦組書籍) の電子書籍作成の流れ】

1

扉・挿絵・特殊体裁の画像データ化

電子書籍化する際に、扉や挿絵、コラムなどの特殊な体裁の箇所を、EPUBで使用できる形式の画像として別個作成していきます。データの無い書籍に関しましては、原本よりスキャンして使用します。
EPUB対応の画像形式：GIF・JPEG・PNG・BMP・WMF・EMF

2



ベーステキストデータの作成

余計なページ周りの素材 (ツメ・ハシラ・ノンブル・地紋) や、画像化したコラム、挿絵などを除去していきます。そして見出し+本文といった基本要素だけが残るようにします。

書籍データがない場合はOCRで取り込んだテキストデータをInDesignで仮組みします。この仮組みでは、見出しと本文の区別がつくように段落スタイルを設定しておきます。

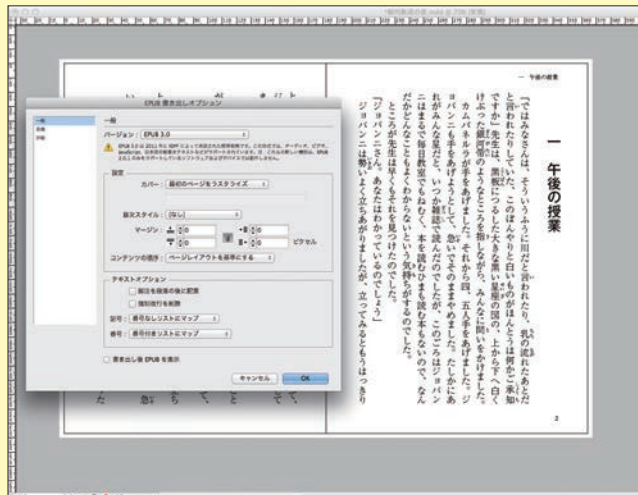
外字に関しては、ビューアによって対応・未対応が分かれているため、画像として入れておくことが基本です。

3

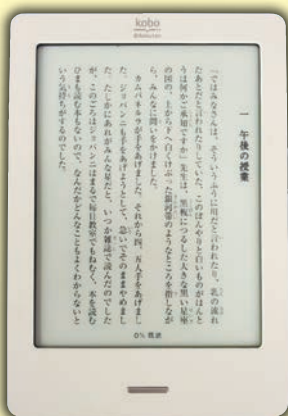
EPUB3.0形式での書き出し・成形

②で作成したデータをEPUB3.0形式に変換します。InDesign CS5.5以上から直接書き出しができますが、書き出したままでは、体裁が整っていません。EPUB形式では添付のCSS記述を変更していくことで、体裁を整えていきます。

また、①で作成した画像データを所定の箇所に挿入していきます。



4



完成

kobo touchに対応させるためには、拡張子を「.kepub.epub」とします。端末にて動作確認して完成となります。

【MCBookを使用したEPUB3.0作成】

上記のほかに、MCBookを使用した作成方法もあります。MCBook上で成形してからEPUB3.0に書き出しますが、一度電子書籍として成形していますので、InDesignからの直接書き出しより、完成形に近い状態に変換することができます。